

# 2018 四季のコンサートだより

2018年9月25日発行

浜松音楽友の会  
事務局  
〒438-0078磐田市中泉114-1  
(090)7034-5890(大場)  
hamatomo1984@yahoo.co.jp

春  
夏  
秋  
冬  
34

## 四季のコンサートに寄せて

ソプラノ歌手 小林 沙羅

真夏の一日、うるさいぐらいのセミの声を聴きながらこの原稿を書いています。浜松でのリサイタルは春。季節がかわり、7月は一か月間兵庫の劇場に缶詰めになり、オペラ『魔弾の射手』に没頭していました。その後クローズドのコンサートやリハーサルが続き、今ようやく長野の山の奥に逃げてきて(!?)、少しほっとしながらこの原稿を書いているわけです。

浜松でのリサイタルは、主催の皆様の細やかな心配り、音楽を楽しむことを知っているお客様、アクトシティの素晴らしい音響…幸せなことばかりで本当に感謝しております。終演後、サイン会のお客様一人一人としっかりお話できたこともとても嬉しかったです。初めて聞いたけれどファンになりました、と言って下さったおばあさま、遠方からわざわざいらして下さった方、歌の勉強をしていますという学生さん、もうすぐ孫が生まれるからその子のためにとCDを買って下さった優しそうなおじいさま…。個人的には浜松に引っ越してなかなか会えなかった高校時代の友人ご家族に再会できたことも嬉しい出来事でした。

興奮冷めやらぬ中、帰りの新幹線の時間が迫っていたので浜松駅へ。そしてまだあと6分ある!!という事で、ピアニストの河野紘子さんにリクエストをして、駅に置いてあったピアノShigeru Kawai (誰でも自由に弾いて良い)で子犬のワルツを一曲弾いてもらいました。高校生ぐらいの男の子たちが通りがかり、「誰あれ!すげー!」とびっくりしていました。私は弾いていないのになんとか誇らしい気持ち。超高速で弾き切った河野さんは頬を赤くして、「調律もしっかりしてあるし、こんなに弾きやすく調整してあるなんてさすが!」と興奮気味。残り時間で急いで食べ物と飲み物を買って新幹線に乗り込み二人で乾杯。忘れられない楽しい一日となりました。



「春のコンサート」4月11日

もう一つ、忘れられない出会いがあります。リサイタルの最後に可愛らしい少女がお花を手渡してくれたのですが、彼女は音楽が、歌が大好きとのこと。去年は私の出演するオペラを見に、東京まで来てくださったとのことでした。7月にも兵庫までオペラを見に来てくれていたようで、再会は叶いませんでしたがとても嬉しく、差し入れてくれたのだと飴を大切にいただいています。彼女のこれからの人生が、音楽と喜びにあふれ、ますます豊かなものとなりますように。

この原稿が「四季のコンサートだより」に掲載される頃には、だいぶ涼しくなっているのでしょうか。今うるさいぐらいに鳴いているセミたちはもういなくなっているのでしょうか。そして私はセミのこともきっと忘れてしまって、次のコンサートに向けての準備に専念しているのでしょうか。けれどセミたちはいなくなったわけではなく、地下に産み付けられた卵が冬を越し、幼虫が生まれ、暗い中で長い間を過ごし、夏にたった7日間だけ、セミとしての命を燃やし尽くす。そう改めて考えたら、うるさいと思っていたセミの声が、熱く激しく情熱的で愛にあふれたサウンドに聞こえてきました。私も、舞台上の数時間に命を燃やすセミのようなもの。もちろんうるさくてはいけませんけれど。季節が巡る中、セミはきちんと命をつないでいる。私も歌を通して、大切なものを届け、伝えていける歌手でありたい。お客様が私の歌声やそのリサイタルのことを忘れてしまったとしても、ほんの一瞬でも心の通うひと時があれば、その瞬間は永遠に残るように思うのです。

今年の8月6日、広島での平和式典で、子ども代表の言葉に「平和を作ることは難しい事ではありません。私たちは無力ではないのです。」という一節があり、その言葉にはっとさせられました。大災害や戦争、テロなどで人が傷つき死んでいくニュースを見るたびに、いつも無力感にさいなまれ、がっかりとしてしまいます。けれど私たちは無力ではない。小さなことでも自分にできることを見つめなおそうと思います。そして、舞台上でセミのように命を燃やし、お客様と心が通う一瞬の中に、平和に通じるエネルギーが潜んでいるのだと、そう信じたい。そう信じます。

## ご挨拶

前代表 安倍 紀子

1984年浜松音楽友の会発足当初から事務局を担当させていただいておりましたが、2000年に初代代表の佐藤安子さんから引き継ぎ、17年間代表を務めさせていただきました。そしてこの2018年度より、飯塚みゆきさんに代表を引き継いでいただくこととなりました。

思い起こせば、浜松音楽友の会も発足後35年目に入ります。これまでの間、実に多くの演奏会に関わることができ、それぞれの記憶を思い返しますと、大変感慨深いものがあります。

記念すべき第1回目の演奏会では、スタッフの熱い思いを会員の皆様にお伝えしたく、バラのコサージュを颯爽と各自の胸に飾って、受付をしたことが思い出されます。けれど、せっかくのコサージュも、演奏会終了前に保育の赤ちゃんのよだれでべとべとになってしまい…。今となっては笑い話ですが、まさに船出したスタッフにとって最初の夢と現実の第一歩となりました。

発足当時は私たちも若く、右も左も分からないまま、無我夢中でスタートした友の会のコンサートの皆様のご支援を頂きながら何とか今年度までつなげることができました。その間、力不足でご迷惑をお掛けしたことも多々あろうかと反省することしきりですが、これまで頂きましたご支援に心より感謝申し上げます。

今回、皆様にさらにご満足いただけるような友の会を目指し、その将来を若い人たちへと繋ぐことができました。新代表を中心に、より魅力的な演奏会が続々と企画されております。どうぞ今後も友の会の演奏会にご期待くださいますよう、心よりお願い申し上げます。

新代表 飯塚みゆき

この度、浜松音楽友の会の代表を務めさせていただくこととなりました。35年という長い歴史の中で築かれた礎のもと、微力ながら最善の努力を尽くしたいと意欲に燃えております。どうぞよろしくお願いいたします。

今春、引き継ぐ折に様々な書類の中から佐藤安子初代代表の新聞記事が目にとまりました。少し茶色に変色したそれは年月を感じさせます。発足から2年目、昭和60年(1985年)の記事の見出しは『楽器のまち浜松にクラシック音楽の輪を広げる』『家族で楽しめる音楽会を』…この志はこれからも変わりません。実際、クラシックの演奏会は「未就学児はご遠慮ください」とチラシに掲載されていることが多いのですが、四季のコンサートでは静かに聴いてくださるお子様でしたら入場していただくことが出来ます。もちろん演奏者には本会の趣旨をお伝えし、ご了解を得ているのですが「最前列にママと座っていた子がキラキラした目で口をポカーンと開けて僕を覗いていたよ」と舞台袖に戻られ、笑いながらお話くださった方もいらっしゃいました。おそらくその小さなお客様は初めて生演奏を聴き、舞台上でプロが歌うお姿に圧倒されていたのではないかと想像し、微笑ましく思いました。

発足当時は、まさにゼロからのスタートで大変なことばかりだったと思いますが、記事の言葉通り今も継続している想いを継ぐという重責を感じながら浜松音楽友の会の名の通り、会員の皆様と『音を楽しむ友』の一員として楽しんで務めてまいりたいと思っております。

この春のコンサートからは開場時、私もロビーにてご挨拶させていただいております。若手で無いことが証明されますけれど…私もスタッフ歴は25年になり、今までは伴奏ピアニストの譜めくり、そしてCDプレゼント係として舞台から皆様にご挨拶させていただいておりますので何となく見覚えのある顔、と思っただけですでしょうか。どうぞこれからはお声をかけていただき、是非アドバイス等、お聞かせください。

秋のコンサートからもお待ちいたしております。

## これからのコンサート予定

秋

第10回浜松国際ピアノコンクール開催記念イベント  
上原彩子 ピアノリサイタル 10月5日(金) 18:45開演

第4回浜松国際ピアノコンクールにおいて第2位および日本人作品最優秀演奏賞を受賞。  
第12回チャイコフスキー国際コンクールでは日本人として初めて第1位を獲得した俊秀。  
ヤノフスキ、小澤征爾等国内外の著名な指揮者やオーケストラと多数共演し、2004年デュ  
トワ指揮のNHK交響楽団と共演でベスト・ソリストに選ばれる。



© K. Miura

### プログラム

1部

ドビュッシー／前奏曲集 第1巻

ドビュッシー／喜びの島

2部

シューマン／ウィーンの謝肉祭の道化 Op.26

リスト／愛の夢 第3番

リスト／巡礼の年 第2年「イタリア」より

第7番 “ダンテを読んで〜ソナタ風幻想曲”

冬

川本嘉子(ヴィオラ) & 小山実稚恵(ピアノ) デュオリサイタル 12月3日(月) 18:45開演

当代随一のヴィオラ奏者と日本を代表するピアニストの共演。川本  
嘉子はジュネーブ国際コンクールで最高位等数々の賞を受賞後、東  
京都交響楽団首席奏者を経て、現在はNHK交響楽団首席客演奏者、  
ソリスト等として活躍。小山実稚恵は、国内外のオーケストラとの  
共演、リサイタル、室内楽と常に第一線で活躍。昨年は紫綬褒章を  
受章している。



© Wataru Nishida

### プログラム

1部

J.S.バッハ／ヴィオラ・ダ・ガンバ・ソナタ 第2番

ベートーヴェン／チェロソナタ 第3番(ヴィオラ版)

2部

ブラームス／スケルツォ

ブラームス／ヴィオラソナタ 第1番

※曲目は変更となる場合がございます。予めご了承ください。

## 新・曲目解説者のご紹介

夏のコンサートから、プログラムの曲目解説は新しい方に加わっていただきました。諸事情により『浜松出身の演奏家シリーズ』が無くなりましたが、このような形で地元の若手を皆様と共に応援して行きたいと思っております。

**堀内 彩虹** (ほりうちあやこ) 音楽美学研究者、音楽評論家

浜松学芸高校音楽科を卒業後、洗足学園大学(声楽)、桐朋学園大学(音楽学)、東京大学大学院(表象文化論コース)修士課程を経て、現在は同大学院の博士後期課程に所属している。専門は歌声聴取の現象学的研究。著作に『貴志康一と音楽の近代』、『表象10』、『博士になったらどう生きる?』、『音楽の共有(不)可能性—感覚に忠実な聴取もたらす新時代のコミュニケーション論』、『音楽現代』(2017年11月号)などがある。2017年に柴田南雄音楽評論賞の本賞を受賞。本賞が出たのは4年ぶりであり、メディアでも話題になった。

2019年 四季コンサート 予定

各回共 於：アクトシティ中ホール

**春** 藤木大地 カウンターテナーリサイタル 4月11日(木)

2017年4月、オペラの殿堂、ウィーン国立歌劇場で鮮烈なデビューを飾った藤木大地が浜松初登場です。日本人また東洋人のカウンターテナーとしての初の快挙は、現地メディアだけでなく、日本国内でも大きなニュースとなりました。各地でのソロリサイタルは常に絶賛されています。また、今年10月に公開予定の村上春樹原作の映画「ハナレイ・ベイ」の主題歌に続き、待望のメジャー・デビューアルバム「愛のよろこびは」のリリースが決定し、その活躍はますますの充実を見せています。今回のリサイタルでは、世界中の音楽家たちがこぞって指名するピアノの巨匠マーティン・カツが伴奏を務めるという豪華版。この貴重な機会をお聴きのがしなく!

**夏** 菊池洋子 ピアノリサイタル 7月18日(木)

2002年のモーツァルト国際コンクールにおいて日本人として初めて優勝し、一躍注目を集めた実力派ピアニスト。ザルツブルク音楽祭のモーツァルト・マチネに出演するなど、国内外で活発な活動を展開し、現在は、ウィーンを拠点に、シュレスヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭やプラハの春音楽祭にも招かれ好評を博しています。本年は、ライフワークでもあるモーツァルトに立ち返り、兵庫県芸術文化センターにおいてモーツァルト・プロジェクトを、また前橋市民文化会館においてモーツァルト ピアノソナタ全曲演奏会をスタートさせることが大きな話題となっています。音符に込めた繊細かつ清冽なピアニズムにどうぞご期待ください。

**秋** 三浦文彰 ヴァイオリンリサイタル 10月18日(金)

待望の浜松初登場です! 世界最難関とも言われるハノーファー国際コンクールにおいて、史上最年少の16歳で優勝し、国際的に一躍脚光を浴びました。その後、欧米各地で主要オーケストラと共演、パリやロンドンでのリサイタルデビューも評判となり、破竹の勢いで活動を展開しています。また、NHK大河ドラマ「真田丸」のテーマ音楽を演奏し話題に。ソロリサイタルの他には、ロンドンでズーカーマン指揮ロイヤル・フィル、サンクトペテルブルク白夜祭でゲルギエフ指揮マリンスキー劇場管弦楽団と共演し大成功をおさめました。使用しているヴァイオリンは、宗次コレクションより貸与された、1704年製作のストラディバリウス“Viott”。力強さと繊細さを併せ持つ演奏を是非ご堪能ください。

**冬** ラデク・バボラーク ホルンリサイタル 12月5日(木)

チェコに生まれ、8歳よりホルンを学ぶ。若くして頭角を現し、プラハ、ジュネーヴ、マルクノイキルヒェンに続き、1994年、18歳でミュンヘン国際コンクール優勝。「美しく柔らかな音色」「ホルンの神童」と評され注目を集めて以来、世界各地で活発な演奏活動を展開しています。小澤、バレンボイム、ラトル、レヴァインなどトップクラスの指揮者の信頼も厚く、世界中のコンサートホールに定期的に招かれています。ホルン界の巨匠 ヘルマン・パウマンは「その演奏の繊細さと表現力の豊かさはホルンという楽器を最高に歌わせる」と評しています。耳に心地よく響く柔らかな音色は、皆様を18世紀の祝祭的な雰囲気へと誘ってくれることでしょう。

★会員の皆様へのお願い★

会員登録は、年度が変わりましてもそのまま登録されます。

退会希望・名義変更の方は、2019年1月末までにお電話またはメールにて事務局へご連絡ください。

保育室ご利用の方は、コンサートの前日までに、大場 ☎090-7034-5890 までお申込みください。

開場時(開演 45 分前)から終演までお預かりします。1 回 500 円です。

個人情報の取り扱いについて

当会は個人情報の取り扱いについて「個人情報の保護に関する法律」及びその他の関連法令及びその他の規範、ガイドラインを遵守し、個人情報について適切な管理・取り扱いと保護に努めます。